



良太さんの新長ねぎ



山倉家の中心として、早い日には朝4～5時から畑に出て頑張っています。



食欲増進、疲労回復、冷房で冷えた体を温めるなど夏を乗り越えるのに夏ねぎはとても役に立ちます。

★暑い夏こそ長ねぎで元気度アップ♪

長ねぎといえば旬は冬を思い浮かべる人も多いと思いますが、8月に出す新長ねぎは、夏ねぎとも呼ばれ、重宝されています。というのも、ねぎの成分には消化液の分泌を促進し食欲を増進したり、疲労回復効果などがあり、暑い夏を乗り越えるのにぴったりの野菜なのです。一方で、夏ねぎは11～12月に種を蒔いてから約1年の間、虫や病気を乗り越えてようやく出荷が出来る栽培期間がとても長い作物。それだけ草取りなどの手間もかかるそうです。

そんな夏ねぎを作っているのが、若手の山倉良太さん。長男であること、また両親が楽しそうに農業をしていたのを見て育ったことで、自然な流れで農業者大学校に進み10年前に両親の下で就農しました。4年ほど前からはお父さんに代わり、山倉家の中心となって働いています。そんな良太さんに夏ねぎについて聞いてみると「今の時期は暑くて畑に水が少ない時期だから、その分美味しいと思うよ」。暑いからこそ美味しさがぎゅっと詰まっているんでしょうね。

新長ねぎはシャキっとした食感で、薬味や味噌汁、また栄養豊富な青い部分は炒め物などに使うと丸々美味しく食べれます。是非、夏の長ねぎパワーで暑い夏を乗り越えましょう！

新長ネギの生産者は9月からは富沢さんにバトンタッチとなります。

【産地情報】

◎おかげさま農場の新しいホームページ「<http://www.okagesam.info>」には最新の産地情報や、この「おかげさま通信」のデータもアップしています。是非、ご活用下さい。

◎前号で紹介した坊ちゃんかぼちゃは、引き続き8kg箱でも1個単位でも注文が出来ます。注文量次第では8月末を待たず終了となります。

◎葉ショウガ、ピーマンなどは順調ですが、その他の夏野菜は干ばつで生育が落ちてきています。